平成31年（2019年）2月8日　金曜日　（日刊）

奈良新聞

NARA NEWS PAPER

〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4 電話（0742）32-1000（代）

発行所 奈良新聞社 ©奈良新聞社 2019

「各自が主役で脚本家」

大阪で「GMS新春講演・交流会」

西川氏 長寿社会の生き方語る

事業を開拓する経営者、起業家を支援するNPO法人チャレンジ企業支援隊「グローバルマネジメントサポーティングパートナーズ」（山崎健一郎理事長）は6日、平成31年「GMS新春講演・交流会」（関西産業活性協議会、奈良新聞社後援）を、大阪府門真市のパナソニック企業年金基金松心会館で開いた。

冒頭、同法人の馬場英彦副理事長が30年度の活動を報告。同協議会と実施のビジネスマッチング支援事業や、第20回キャンパスベンチャーグランプリへの応募支援で、大阪市立デザイン教育研究所が廃材を活用した玩具製作会社の起業を企画し、奨励賞を受賞したことなどを紹介した。

続いて、研修会社「WINTH（ウインズ）」の西川由喜代表が「人生100年時代 長寿と言う贈り物」で講演。長寿社会の生き方について、自身が舞台女優として活動する立場から「各自が脚本家、主役として生きていけば、芝居と同様に後半から面白くなる。長寿は時間とチャンスの贈り物と前向きに捉えてほしい」などと語った。

講演会のあと交流会もあり、約70人の参加者が親交を深めた。

長寿社会の生き方などを語る西川代表＝6日、大阪府門真市のパナソニック企業年金基金松心会館